



横浜みどりアップ計画

地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

●地区名 六ツ川・永田地区

●団体名 南中あじさい咲かせ隊



◎所在地：南区 六ツ川町、永田町

●取組期間

3 年

●協定締結期間

平成26~28年度

●計画名 南中学校周辺の緑化推進事業



地区の範囲図及び緑化実施場所

横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

横浜みどりアップ計画 🔍

地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

地域緑のまちづくり事業 🔍

団体の概要・地区の諸元

地区の拠点となる横浜市立南中学校は、平成22年にあじさいによる緑化で、全日本学校関係緑化コンクールで準選に選ばれるなど、地域の貴重な財産となっています。あじさいによる緑化を守り、育て、広げ、次世代へ引き継ぐため、中学校と4つの連合自治会が合同で取り組む、「南中あじさい咲かせ隊」を結成することになりました。

地区の中心に位置する「弘明寺観音」「京急弘明寺駅」を中心に、東側の“桜の名所”大岡川プロムナード、弘明寺公園に対して、西側に六ツ川、永田地区の住宅地を背に、南中学校で育成された「あじさい」を発展させ、周辺の沿道・民有地などが“あじさいの名所”となることを目指し、バランスのとれた「緑のまちづくり」を期待しています。

取組み(計画)の概要

- ① 南中学校校内沿道で育成している「あじさい」約50種500株を地域の緑化の柱とし育苗・育成・増殖していく。またあじさい以外の草花を含め、学校周辺の沿道の緑化を進め、緑・花々が溢れ、心和む・潤いのある街・地域づくりを推進する。南中学校の周辺・沿道を中心に地域全体が「あじさいの里、名所」となることを目指し「緑のまちづくり」を推進する。
- ② 南中学校を拠点として、南中学校の生徒とともに、地域の人々と一緒に環境美化の志向を高め、緑を増やし、又緑を増やす人々を増やす活動を末長く推進し、地域の人々に愛着のある活動となる様に定期的に講習会を行い、また広報紙を発行活動の趣旨を広めていく。
- ③ 民有地の緑化支援となる様に育苗・新種の導入に努め、地域の協力者への苗・鉢植えの配付を進める。活動が継続するように協力者・協賛企業を募り、活動の共感・資金的基盤を構築し助成終了後も永続的な活動となる様に努める。



- ① 地区の拠点、横浜市立南中学校前の様子
- ② 南中学校内花壇でのあじさい育成の様子
- ③ あじさい現地研修会の様子
- ④ 幹線道路の植樹帯の様子
- ⑤ 京浜急行沿線法面のあじさいの様子
- ⑥ ハンギングバスケット講習会の様子

3か年の主な取組実績

● 助成金額合計 3,987千円

民有地緑化

”あじさいの名所”づくりを目指して

南中学校壁面側の擁壁上部に、あじさい70株を植栽したほか、平戸桜木道路の街路樹柵等の5か所にあじさい(計10本)を植栽しました。また、京浜急行沿線法面にて、あじさいを植栽したプランター(30基)を設置しました。



活動支援

学校と連携した、あじさいによる緑のまちづくりの展開

緑花に関する関心を高めるため、ハンギングバスケットの制作講習会を中学校と連携して開催したほか、あじさいの生育について学ぶため、研修会や現地見学会を実施しました。また、継続的に苗木の配布などの活動の展開を行っていくため、苗場づくりのための園芸資材を購入し、中学校と連携しながら、挿し木からあじさいを育成する取組を進めています。



3か年の取組を振り返って [地区のインタビューのコメントから抜粋]

本事業で、拠点となった南中学校、平戸桜木道路では、多くのあじさいを増やすことができました。これも、中学校の園芸部の生徒や、メンバーの熱心な活動によるもので、幹線道路では、植栽帯へのゴミの投棄等が減って、地域環境の向上にも貢献しています。また、京浜急行沿線法面のあじさいは、地域の駅への通勤路等になっていて、あじさいを身近に感じられるよい空間となりました。今後も、あじさいを挿し木等で育成し、地域の皆さんに配布するなど、あじさいによる緑のまちづくりを進めていきたいと思っています。



お問合せ先

横浜市環境創造局みどりアップ推進課
Tel.045-671-3447 | Fax.045-224-6627
メール ks-ryoka@city.yokohama.jp